

## 板橋区立小中学校不登校児童生徒増加対策プロジェクトチーム（PT）活動報告について（第2回）

### 1 活動状況

月1～4回PTを開催し、以下の協議・改善策の実施、事業の企画・実施を行った。

- ①第1回4月21日…PT立上げ
  - ・PT趣旨共有、業務分担 等
- ②第2回4月28日～第8回6月29日…学校再開後の不登校増加対策協議等
  - ・不登校の状況、コロナ理由の欠席状況の把握
  - ・学校が関与できていない児童生徒の把握
  - ・PTが実施する新たな事業等の検討
- ③第9回7月7日～第11回8月18日…不登校対策の検討・新規事業企画等
  - ・不登校児童生徒への関与を目指したケース会議の検討
  - ・不登校（傾向）中学生対象進路説明会・フォーラム「不登校を考える」企画検討
  - ・Orihime ロボット活用事業検討
- ④第12回8月28日～第17回10月20日…不登校対策全体構想図策定検討・新規事業企画等
  - ・不登校対策全体構想図策定検討・不登校対応ガイドライン検討
  - ・不登校中学生対象個別進路相談会・高校説明会企画検討
  - ・学校が関わりをもてない不登校児童生徒への関与をめざしたケース会議開催検討
- ⑤第18回11月6日～第22回1月8日…不登校対策全体構想図・不登校対策ガイドライン検討
  - ・不登校対策全体構想図及び不登校対策ガイドライン策定検討
  - ・不登校児童・生徒に係る「民間施設利用に関する出席の扱い」の検討
  - ・学校等が関わりをもてない不登校児童生徒への関与を目指したケース会議の試行

### 2 実施した事業

- ①令和元年度不登校児童生徒実態調査の実施（5月）
- ②コロナ感染を恐れ登校することのできない児童生徒の調査（6月分散登校終了後）
- ③7月18日 不登校（傾向）中学生対象進路説明会・個別相談会の開催
- ①～③については8月27日開催文教児童委員会にて報告済
- ④9月20日 不登校フォーラム「不登校について考える」の実施
  - ・生涯学習センターを会場に都内フリースクールが制作した不登校に関するDVDを視聴し、その作成に係った不登校経験者からの話を聞いた後、参加の児童・生徒、保護者、支援者等のグループ別意見交換を実施した。

- ・参加 22 名の感想から「貴重な体験となった。グループの話し合いの時間がもっとほしかった」「自分の考え方や行動を見直す良い機会となった」「親として学校に行かせることを優先せず、子どもの気持ちを第一に考えることを学んだ」等肯定的感想多数
- ⑤10月30日 不登校中学生対象個別進路相談会・高校説明会
- ・不登校中学生とその保護者に、進学指導を受ける機会を提供するため、教育委員会スタッフ（中学校教員経験者）による個別進路相談会とフレンドセンターの通級生が進学した高等学校等による個別説明会を教育支援センターにおいて同時併行開催した。
  - ・都立・私立高等学校、サポート校、フリースクール等16校が個別相談ブースを設置し、60名の生徒及び保護者が参加した。
  - ・参加者の感想から「息子が不登校で悩んでいたが、一歩踏み出せそうな気がした」「進学について希望がもてた」「進学先が決められず不安な日々が続いていたが、少し解消された」「コロナ禍で学校を見学することが難しいのでこの機会は嬉しい」「いいなと思う高校があってよかった」「直接高校の先生からの話が聞けて、疑問も解消されてよかった」等肯定的感想多数
- ⑥Orihime ロボット活用事業の試行実施
- ・NPO「ラーニングフォーオール」の全面的協力を得て、WEBカメラ搭載ロボット「Orihime」をコロナ不安により欠席している児童・生徒の授業等へのオンライン参加についての試行を実施した（提供いただいたロボットは2台）。
  - ・コロナ不安による欠席児童・生徒のいる学校からの要請を受け、試行を進めていく段階で、その学級に在籍している他の児童・生徒及び保護者からの承諾を得たり、学校での実施体制を構築したりすることに想定以上の時間を要し、12月から2中学校による試行実施に至った。
  - ・今後は、この試行を検証し、GIGAスクール構想（一人一台環境）を活用した、オンラインによる不登校児童・生徒への学習保障へつなげていく予定である。

### 3 今後の活動予定

#### ①不登校対策全体構想図に基づく組織的不登校対策の実施

不登校対策全体構想図に基づき、教育委員会事務局各課を横断した取組を実施し情報共有を継続していくことで、支援を受けることができていない児童・生徒への対応を迅速に図っていく。

#### ②コロナ禍、GIGAスクール構想を踏まえた新たな不登校対策の実施

今後の新型コロナウイルス感染拡大等も視野に、板橋区が進める児童・生徒一人一台のタブレット環境を活用し、不登校児童・生徒がオンラインによる学校教育活動へ参加できる体制を構築するべく検討を進めていく。



# 教育委員会が行う不登校対応

別添 資料

## 子どもたちの生きる力を育てる教育と地域 2020～

不登校増加対策プロジェクトチーム2021年1月

### はじめに

板橋区における不登校出現率は下表のとおり、年々増加傾向にある。この様な状況において、教育委員会が主体的に関わり課題解決を図るため、不登校児童生徒増加対策プロジェクトチームを令和2年4月に立ちあげた。本プロジェクトチームにおいて、区内の不登校児童・生徒の実態を把握するとともに、教育委員会が行う不登校対応について検討を行ったため、次のとおり報告する。

### 板橋区における不登校出現率の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1
小学校	0.42%	0.55%	0.52%	0.77%	0.85%	0.86%
中学校	3.29%	3.76%	4.46%	4.11%	4.65%	4.27%

(参考) 東京都の不登校出現率

	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1
小学校	0.46%	0.49%	0.52%	0.56%	0.74%	0.88%
中学校	3.17%	3.33%	3.60%	3.78%	4.33%	4.76%

### 支援の方策

不登校の児童・生徒の状況を教育委員会が的確に把握し支援を行う。特に、児童・生徒が「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することをめざし、以下の3点を柱とした支援の拡充を検討する。

#### 1 相談支援体制の拡充

不登校児童・生徒及び保護者向けの相談支援体制を拡充

#### 2 居場所と体験活動の場づくり

安心して過ごせる居場所や教育・体験活動の場を提供

#### 3 学校の取組・体制づくり

個々の子どもへ寄り添う校内体制づくり

めざすべき方向 将来引きこもらず社会的に自立すること

### 1 不登校児童・生徒及び保護者向けの相談体制及び支援体制を拡充

- フレンドセンター保護者交流会の実施**  
保護者同士の悩みを語り支えあうネットワークづくり
- 教育支援センター教育相談室の活用周知**  
不登校や発達の課題、教育上の悩みを、子ども（～18歳）と保護者が継続して相談できる窓口の周知
- スクールカウンセラーによるオンライン教育相談の実施を検討**  
一人一台のタブレットパソコンを活用し、不登校の子どもたちを対象とした個別相談の実施を検討
- 地域での見守りと訪問型支援体制の充実**  
孤立化を防ぐため、民生・児童委員による地域での見守りや、学校と、SSW・フレンドセンター・SCなど、関係機関の連携による訪問型支援を充実
- 中学卒業後の切れ目のない支援のあり方について検討**  
中学校を卒業した18歳までの子どもに対して、教育相談室、子ども家庭支援センター、生涯学習センター等が、東京都教育委員会、高等学校・専門学校・NPO等の関係機関や施設と連携して、切れ目のない支援を行うことについて、支援のあり方を検討



### 2 安心して過ごせる居場所や教育・体験活動の場を提供

- フレンドセンター事業の充実**
  - 区内大学生（心理学専攻）の協力によるコミュニケーションの訓練
  - 子どもたちが自分で考え、取り組める活動の後押し
  - 成長に応じた適切な対応と居場所の提供・・・「小学生ルーム」の新設
  - フレンドセンター卒業生と通級生の交流・・・「卒業生との座談会」
- 学校教育施設と社会教育施設との連携・協働による新たな居場所づくりのモデル**  
不登校の児童・生徒が、家庭、学校以外の第3の居場所として、安心して過ごせる場の拡充を検討  
検討に当たっては、令和元年9月に板橋フレンドセンターの分室として開設した、成増フレンドとまなぼーと、成増i-youthの連携体制をモデルとして拡充を検討
- 多様な内容・方法・学びの形で、学ぶことが楽しいと思える新たな学習環境の整備**  
GIGAスクールにより、1人1台のタブレットパソコンを活用し、家庭やフレンドセンター等、学校以外の場で学ぶことができる環境を整備
- 地域の機関やNPO、フリースクールとの連携**  
連携による多様な体験活動の場を提供

#### 不登校増加対策プロジェクトチームの取組み2020

##### 【保護者・生徒を対象とした学習・交流機会の提供】

不登校経験者を招き、不登校について考える場として不登校の児童・生徒、保護者を対象に実施

##### 【不登校生徒、保護者向け進路説明会、個別相談会の実施】

区立中学校の生徒及び保護者を対象に進路への不安の解消を目的として実施。講話、高校説明会の後に、個別相談会を実施

##### 【リモート機器の試行導入】

機器を通じて、自宅や病室等にいながら教室にいるような体験が可能になる取組みを試行的に実施。NPO法人の協力を得て、リモート機器を試行導入し効果を検証。

### 3 個々の子どもへ寄り添う校内体制づくり

- 不登校対応ガイドラインの整備**  
不登校の児童・生徒への対応を適切に行うことができるよう、ガイドラインを整備
- 小・中連携の引き継ぎ**  
登校支援シートをもとに、小学校で不登校になっていた児童の情報連携
- 別室登校のあり方について検討**  
学校内で安心して過ごせる居場所の確保と、校内体制整備の検討
- 教職員の不登校対応力の向上**  
不登校支援関係研修等の開催

不安解消・社会との接点の創出

不登校児童・生徒の社会的自立

学力の補償  
社会性の育成